

平成20年9月30日

各位

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役社長 犬伏 泰夫
 (コード番号 5406)
 問合せ先責任者 秘書広報部長 佐川 豊
 (TEL 03-5739-6010)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,185,000	85,000	60,000	35,000	11.65
今回発表予想(B)	1,185,000	95,000	75,000	40,000	13.32
増減額(B-A)	0	10,000	15,000	5,000	——
増減率(%)	0.0	11.8	25.0	14.3	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	1,034,655	95,715	75,929	47,015	15.66

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,460,000	180,000	130,000	68,000	22.64
今回発表予想(B)	2,475,000	195,000	150,000	75,000	24.98
増減額(B-A)	15,000	15,000	20,000	7,000	——
増減率(%)	0.6	8.3	15.4	10.3	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	2,132,405	202,398	157,918	88,923	29.62

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	765,000	50,000	40,000	30,000	9.97
今回発表予想(B)	765,000	60,000	55,000	35,000	11.64
増減額(B-A)	0	10,000	15,000	5,000	——
増減率(%)	0.0	20.0	37.5	16.7	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	626,132	52,598	49,010	25,063	8.33

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,570,000	95,000	70,000	40,000	13.29
今回発表予想(B)	1,595,000	115,000	95,000	50,000	16.63
増減額(B-A)	25,000	20,000	25,000	10,000	——
増減率(%)	1.6	21.1	35.7	25.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,283,638	109,926	86,245	42,959	14.28

修正の理由

当第2四半期累計期間の連結売上高は、前回見通し並みの1兆1,850億円程度となる見通しですが、利益につきましては、鉄鋼関連事業における原油や金属類の市況軟化などにより、当第2四半期累計期間の連結営業利益は前回見通しを上回る950億円程度、経常利益は750億円程度、純利益は400億円程度となる見込みです。

第3四半期以降につきましては、アルミ・銅関連事業や建設機械関連事業などの一部では需要の低迷が見込まれます。一方、鉄鋼関連事業においては、高級鋼の需要が総じて堅調に推移するものと予想しており、高水準の操業を続けるとともに、追加のコストダウンや販売価格の改善に継続的に取り組んでおります。これらを背景に、通期の連結売上高は、前回見通しに比べて増収の2兆4,750億円程度となる見通しであり、利益につきましては、営業利益は1,950億円程度、経常利益は1,500億円程度、当期純利益は750億円程度といずれも増益となる見通しです。

単独業績につきましては、当第2四半期累計期間の売上高は、前回見通し並みの7,650億円程度となる見通しですが、利益につきましては営業利益、経常利益、純利益ともに増益の600億円程度、550億円程度、350億円程度となる見通しです。また、通期の売上高は前回見通しに比べて増収の1兆5,950億円程度となる見通しであり、営業利益は1,150億円程度、経常利益は950億円程度、当期純利益は500億円程度といずれも増益となる見通しです。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上